

文部科学省・平成 29 年度私立大学研究ブランディング事業採択
「『寄り添い型研究』による地域価値の向上」



(平成 29～31 年)

岡山商科大学

文部科学省・平成29年度私立大学研究ブランディング事業採択

「『寄り添い型研究』による地域価値の向上」

I. 申請内容について

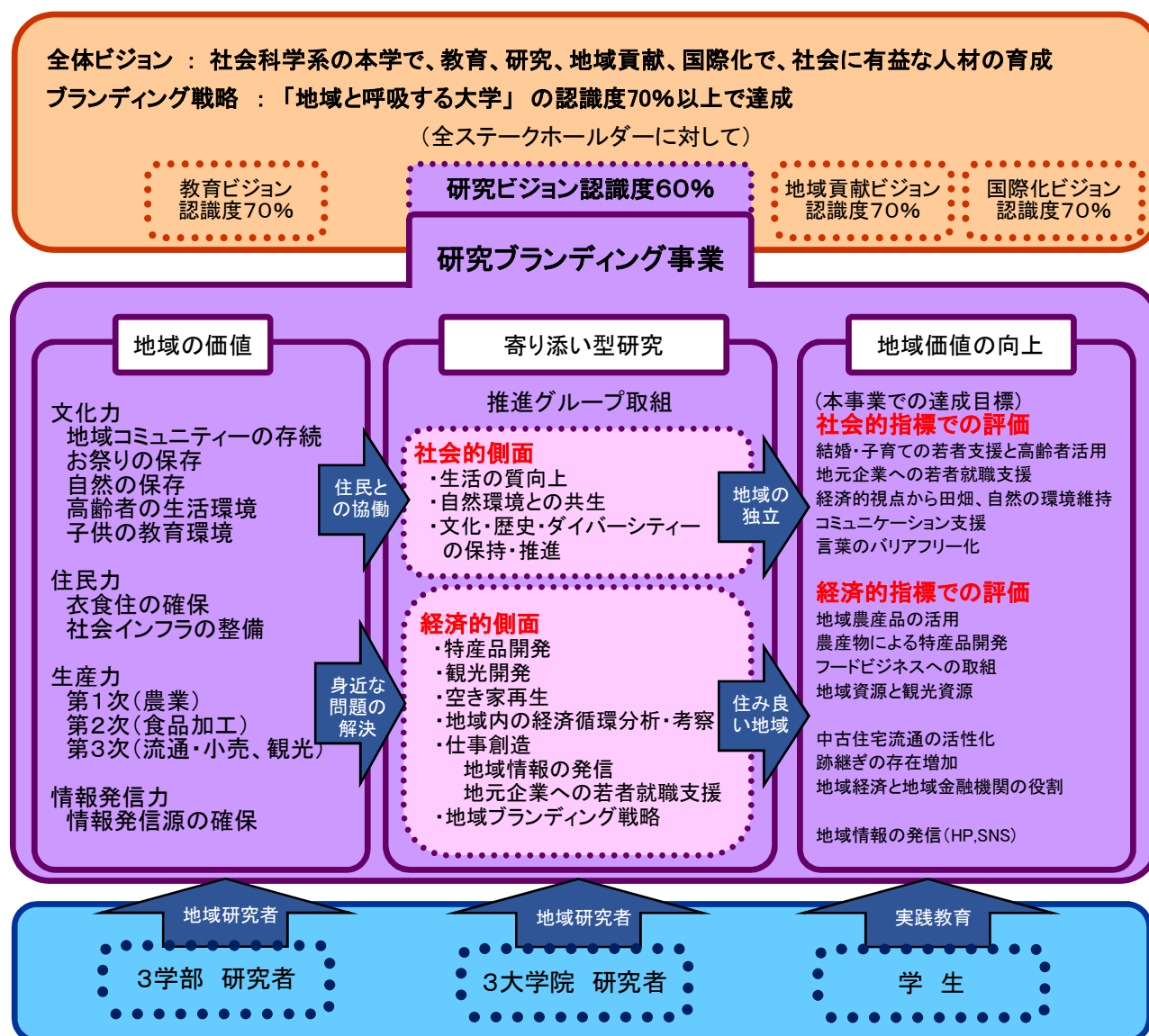
1. 事業名 『寄り添い型研究』による地域価値の向上	2. 参画組織 岡山商科大学 経営学部、経済学部、法学部
3. 研究期間 平成29～31年度	4. 申請タイプ A：地域の経済・社会、雇用、文化の発展に寄与

II. 事業概要

1. 目的：本学の社会科学の英知を結集
「地域価値向上」に取り組む研究として、「魅力あるまちの創造に貢献する大学」についてのブランドイメージ＝「地域と呼吸する大学」を浸透、確立する。
2. 研究テーマ：従来型の研究に加え、特産品開発や販路開拓、観光ツアー、地域イベント等の研究
3. 学生・教職員が積極的に参加協力する。「実践的協働」で教育研究を実施する。
4. 対象地域：「包括連携協定」を締結している「岡山県内8市町村等」

新庄村	笠岡市	瀬戸内市	岡山市	備前市	津山市	真庭市	和気町
-----	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----

III. 概要図



Ⅳ. 研究ブランディング事業一覧：研究テーマと研究対象地域

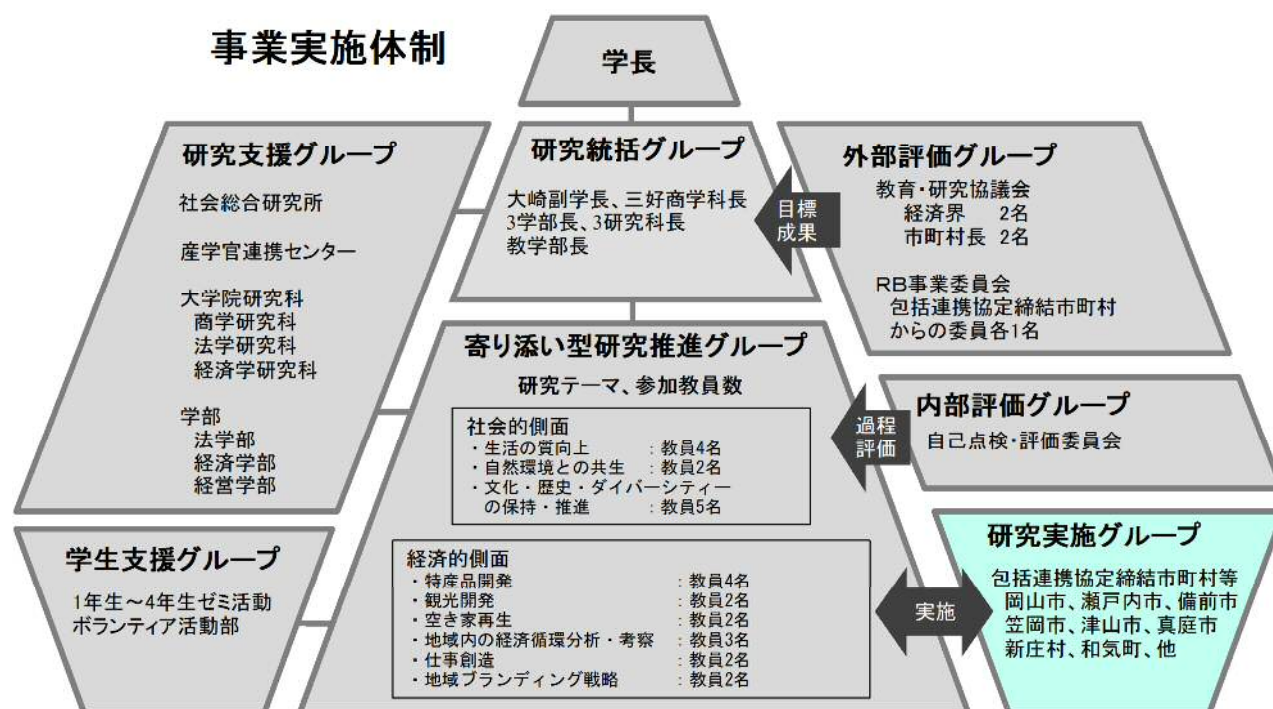
社会的側面の研究テーマと研究者	対象地域	評価指標	達成目標		
			平成29年	平成30年	平成31年
生活の質の向上 結婚・子育てに向けた若者支援と高齢者の活用 國光講師、三谷教授、田中(勝)教授 佐々木講師	津山市 瀬戸内市	地域創生の理論構築 人ロシミュレーション ヒヤリング調査 2市との打合せ 政策評価 報告会	2回発表 1市実施	1市実施 2市実施 4回	2市実施 2市開催
自然環境との共生 農業振興と自然環境との共生に関する経済分析 加藤(真)准教授、田中(勝)教授	津山市	地域産業連関表 CO ₂ 排出量削減効果 超過環境負担率 報告会	1市作成 1市算出	1市精査 1市算出	1市算出 2回開催
文化、歴史、ダイバーシティの保持・推進 岡山市におけるコミュニケーション支援 及び言葉のバリアフリー化 宮教授、全准教授、黎准教授、松浦准教授、 徐講師	岡山市	行政へのヒヤリング 現地調査 外国人観光者数 アンケート調査 定住外国人人数 報告会	3回 3回 2回調査 2回 2回調査 2回実施	3回 3回 1回調査 2回 2回調査 2回実施	2回 1回 2回調査 2回実施
経済的側面の研究テーマと研究者	対象地域	評価指標	達成目標		
			平成29年	平成30年	平成31年
特産品開発 備前番油の歴史・現状・展望 天野教授	岡山市 倉敷市 備前市	実地調査 フィールドスタディ 研究成果報告会	6回実施 1回実施 1回実施	6回実施 1回実施 1回実施	4回実施 1回実施 2回実施
地域農産物を活用した加工食品の商品開発 岸田教授	瀬戸内市	地域との協働作業 ボランティア活動 作物の種類別調査 加工食品の種類別調査 商品開発の試作会	2回実施 2回実施 2回実施 1回実施 1回実施	2回実施 2回実施 2回実施 1回実施 1回実施	2回実施 2回実施 2回実施 1回実施 2回実施
岡山県におけるフードビジネスと地域活性化 渡邊准教授	総社市	現地調査 地域と協働作業 報告会	3回実施 2回実施 1回実施	3回実施 2回実施 1回実施	2回実施 2回実施 2回実施
蒜山地域における農産物を活用した特産品開発 大石講師	真庭市 蒜山高原	地域と協働作業 聞き取り調査 アンケート、聞き取り調査 地域資源の発掘数 新商品の販売店舗数	5回実施 10回実施 10件	3回実施 50名 3件	3回実施 3店舗
観光開発 湯原温泉における新たな地域資源を 生かした観光振興 大石講師	真庭市 湯原温泉	地域と協働作業 観光客アンケート調査 観光施設インタビュー調査 地域資源の発掘数	5回実施 50人実施 20件実施 10件実施	5回実施 50人実施 20件実施 10件実施	5回実施 50人実施 20件実施 10件実施
笠岡市真鍋島の観光振興 三好教授	笠岡市 真鍋島	ボランティア活動 地域での観光イベント開催 イベントでの特産品販売 特産品開発での協働作業 観光プランの実践	5回実施 1回実施 2回実施 随時	5回実施 1回実施 3回実施 随時	3回実施 1回
空き家再生 中古住宅流通の活性化、地域資産の有効活用 海宝准教授、高林教授	備前市 津山市	宅建業者へのアンケート調査 宅建業者へのインタビュー調査 中古住宅の実態調査 自治体等への調査報告	3回実施 3回実施 200件実施	3回実施 50件実施	2回実施
仕事創造 地域の情報発信 スタンプラリーゲーム支援機能と地域のPR機能 を有し、スマートデバイス上で動作するアプリ開発 其輪准教授 地元企業への若者の就職支援 大東准教授	新庄村 岡山市	アプリダウンロード(DL)数 アプリによる訪問者数 地域情報発信数 報告会 インターシップ参加学生数 就職者数、 就職に対する目的意識変化	300DL 100名 600件 1回調査 1回調査 1回調査	300DL 100名 600件 2回調査 2回調査 2回調査	300DL 100名 600件 2回 1回調査 1回調査
地域内の経済循環の分析・考察 地域経済における金融の役割 金融パフォーマンス クラウドファンディング 鳴滝教授、井尻講師、山根准教授	岡山市 瀬戸内市	アンケート調査 仲介事業者調査 フィールドスタディ調査 報告会	2地域 2事業者	15社調査 1回実施 2回実施	4回実施
地域ブランド戦略 観光客、移住者の増加に向けた地域ブランド戦略 三好教授、横澤准教授	和気町	ヒアリング調査 観光・まちの魅力資源調査 まちのPR動画の作成 観光プランの作成 報告会	2回実施 3回実施	1回 1回	1回実施 2回実施

V. 本学の教育研究活動に関する「認識度」を向上させる対象としてのステークホルダー

本学活動	所掌部署	認識度を確保する必要があるステークホルダー
学生確保活動	入試部	高校生、高等学校教員、保護者
学生教育活動	教学部、各学部	学生、教職員、保護者、高校生、企業関係者
研究活動	各学部、各研究科	教員、学生、自治体関係者、企業経営者
就職活動	キャリアセンター	企業就職担当者、学生、保護者、高等学校教員
地域連携活動	産学官連携センター	自治体関係者、企業経営者、教職員
国際交流活動	国際交流室	学生、教職員、一般社会時

VI. 事業実施体制

- (a) 学長をトップにした、「将来構想検討委員会」で「将来ビジョン」、「ブランド戦略」、「研究ブランディング事業」を統括する。
「研究ブランディング事業」を推進し、3年間で成果を確実にするために、副学長、商学科長を中心とし、3研究科長、3学部長、教学部長で構成する「研究統括グループ」を設置している。
- (b) 「研究推進グループ」は、「社会的側面」から研究を推進する3分野3研究テーマと、「経済的側面」から研究を推進する6分野11研究テーマで構成している。これらの研究テーマの内、社会的側面研究では2研究テーマ、経済的側面研究では6研究テーマが、本学で2016年から実施している「岡山商科大学研究ブランディング事業」で既に県内市町村で学生の参加を得て研究を推進しているので、本事業ではこれらの研究を更に3年間推進する。また、経済的研究側面の「特産品開発」の4研究テーマは、二松学舎大学と「フードビジネス」に関する共同研究を実施しており、「寄り添い型研究」の中核をなしている。
- (c) 全学的な支援体制として3学部、3研究科の教員による「研究支援グループ」、学生の研究への参画のための学生支援体制(ボランティア部、1年生から4年生でのゼミ)を構築している。
- (d) 「寄り添い型研究」の実施場所は、主として岡山県内の市町村であり、研究グループの地域での活動のコーディネート、アンケート、調査分析を行う。
- (e) 事業の外部評価は、全体計画、成果については「教育研究協議会」で実施する。本会は、市町村長2名、企業経営者1名、(一社)岡山経済同友会教育社会貢献委員会委員長で構成している。また研究の実施、事前打合せ、意見の聴取は、包括連携協定を締結している7市町村の委員で構成する「RB実施委員会」で、実施、進捗状況について評価を受ける。



お問い合わせ：〒700-8601 岡山県岡山市北区津島京町 2-10-1

岡山商科大学 総務企画課 担当：三浦（研究推進）

産学官連携センター 担当：中村・中川（地域連携）

TEL. 086-252-0642 FAX. 086-255-6947